



入学式がありました

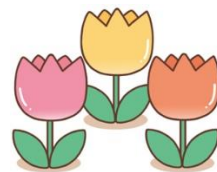
4月7日（金）、1年生98名が福野小学校に入学しました。あいにくの天候となりましたが、4年ぶりに全校児童や教職員が集まって入学式を行うことができました。1年生の子供たちは、挨拶の声も座っている姿勢も立派でした。



「自分のことは自分でできるようになってほしい。自分でできることをどんどん増やしていこう」とお願いしましたが、早く小学校生活に慣れ、存分に自分の力を発揮してほしいと思います。保育園・幼稚園の園長先生方をご招待できたのも4年ぶりだったのですが、皆さん喜んでいられました。また、入学式に至るまで、最高学年となった6年生の子供たちが準備や清掃に一生懸命取り組んでくれました。入学式の歓迎の言葉を話した3名も堂々と自分の役割を果たしてくれました。頼もしい限りです。

これで児童629名、教職員70名余りが全員揃い、令和5年度の福野小学校がスタートしました。

令和5年度の学校運営について



1 重点目標 「自ら考え 判断し 行動する」

私にとっては、附属小で3年、城端小で2年、福野小で2年、合計7年目の学校運営となります。常に言い続けてきたことが『自ら考え 判断し 行動する』ということです。「今年も何が起こるか分からない年になる」と思いますが、子供たちが大人になる数十年後は、今よりも科学技術が進歩し、人の価値観も多様になり、何が起こるか見当もつかない不透明な時代になっていると思われれます。解決策なんて誰にも分からない、誰も教えてくれないでしょう。そんなときに、「国が悪い」「〇〇のせいだ」と他人の責任を追及しても何の問題解決にもなりません。そんな時代を多少の困難にへこたれず、『自ら考え 判断し 行動する』前向きでたくましい人になってほしい。これが私の願いです。

「何が起こるか分からない」と言えば、入学式で私が式辞を話し始めたときに停電で会場が暗くなるというハプニングがありました。平静を装い、子供たちに「びっくりしたね」と話しかけましたが、一番びっくりしたのは私でした。後から分かった話では、停電はカラスのいたずらで一瞬だったようですが、一度消えた水銀灯は復旧に時間がかかります。会場は暗いままでしたが、水銀灯でないステージ上はすぐに電気が復旧し明るく照らされていたそうです。式後には、来賓の方から「あれは演出ですか」と言われ、苦笑いしました。前代未聞の珍事でしたが、何が起こっても動じずどっしり構え、臨機応変に対処することが大切だと改めて思いました。また、自分にとっては一大事だと思うことでも、他人にとっては大した問題でないと思われることが多々あります。起こってしまったことにいつまでもくよくよせず、同じ失敗をしないように前を向いて進むことの方が大切だと思います。

2 学校運営の方針

① 教員や子供の創意を反映させた教育活動の推進

- ・これまで中止や縮減してきた行事等ができるようになると考えられます。単に「元に戻す」「やめる」ではなく、改良方法を検討した上で、実施の仕方を判断していきます。変更点は、早めに保護者や地域に伝え、理解と協力を得るように努めます。
- ・行事等の実施に向けては、子供（特に6年生）の思いも取り入れていきたいと思えます。（南砺市こどもの権利条例「参加する権利」）

② 地域人材や専門家の活用

- ・新学習指導要領への対応、「プログラミング」「特別支援教育」「がん教育」「防災教育」「ネット犯罪」「薬害防止」…。何でもかんでも学校だけでできるわけではありません。任せられる内容は専門家に任せ、子供たちにとって有意義な学習となるようにします。
- ・これまでの取組に加え、今年度は福野スポーツクラブと連携し、陸上競技や器械運動を体育の時間に指導してもらえよう年間指導計画に位置付けることを考えています。



③ 強固な学年・学級経営を基盤にした生徒指導

- ・校内研修のテーマに「学級経営」を位置付け、学校全体で『互いを認め合える子供』を育てます。
- ・子供に自己決定する機会を与え、成功体験（失敗体験も含む）を積み重ねるよう努めます。
- ・南砺市こどもの権利条例を子供や家庭に周知し、子供たちの自己肯定感を上げるとともに、他者の権利も大切にしていかなければいけないという心情を育てます。
- ・チーム担任制やチーム学校の機能を生かし、問題を抱える子供にはチームで対応します。

④ 学校の情報発信と保護者や地域等との連携

- ・昨年度は、管楽器クラブの地域移行、玄関の開錠時刻の遅延、立山登山の廃止、会議室のWi-Fi設置、学校給食へのICT支援等に着手できました。受け止めてくださる保護者や地域があります。今年度も、学校の思いや願いは相談させてください。
 - ・保護者や地域・外部機関の協力を得るためにも、校長だより等の各種便りやホームページで学校の考えや子供たちの様子を知ってもらえるように努めます。
 - ・一方的に願いを伝えるだけでなく、相互利益の関係を大切にします。例えば、お世話になった方を感謝集会や学校行事に招待したり、感謝の手紙を書いたりします。
- アフターコロナの難しい年になります。子供たちのために、よいと思ったことはやっています。今年も、教師と保護者と地域が一枚岩であることが大切です。

スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーをご活用ください

今年度も、森田英宏スクールカウンセラーに勤務していただけます。毎週 金曜日の9:30~14:00が勤務時間です。悩みを抱えている子供や保護者で面談の希望がある方は、担任または教頭までご連絡ください。

また、吉田美司子スクールソーシャルワーカーの勤務は毎週水曜日の午前です。悩みを抱えているご家庭への支援をしてさせていただきます。

(校長 曲 師 政 隆)